

横浜市立 子安小学校 学校評価報告書 (平成28～30年度)

重点取組分野	平成28年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①全教員が重点授業研究を通じて授業づくりにも、子どもの主体的な学習を実現させるとともに、学び合いを通して子どもの言語能力やコミュニケーション能力を高める。②生活科や「横浜の時間」を中心に地域や社会と関わり合う時間を設定して、問題解決的な学習を行いながら子どもの表現力を高めていくようにする。	①教師一人ひとりが授業研究を実践したことで、子どもが主体的な学習を行えるようになるにはどのようにしていくべきか共同研究することができた。②学年の発達段階や他教科との関連に基づいて人やものと思いを育む。③児童が主体の人権集会を開き、様々な環境や状況にある人から学ぶ機会を設定して、思いやりの心やたくましく生きることの大切さを学ぶ。④「挨拶運動」を全校で実施し、進んで挨拶をする態度を育てる。	B
豊かな心	①道徳の時間や各教科の授業において、物事の善悪や自他を思いやる心を育てる。②年間を通して全クラスが1回以上道徳の授業参観を行う。③児童が主体の人権集会を開き、様々な環境や状況にある人から学ぶ機会を設定して、思いやりの心やたくましく生きることの大切さを学ぶ。④「挨拶運動」を全校で実施し、進んで挨拶をする態度を育てる。	①②③道徳の授業に限らず、道徳的規範を大切に育てるよう指導に努めてきた。子どもたちは人権意識を養うことが概ねできてきた。一方で、善悪の判断や自他を思いやる心と行動がすぐれていることもあり、指導にあたっては、挨拶運動は継続して意識付けを行う必要がある。	B
健やかな体	①「長縄集会」や「縄跳び運動」の取組を年間を通して実践し、体を動かすことの楽しさや能力を高めることの喜びを学ぶ機会を設定する。②「長縄中休み」を設定し、全校が一同に長縄に親しむ機会を継続的に実践する。③学校保健委員会を年に2回開き、自分の体の健康について学び、あてにむかって努力することの大切さを学ぶようにする。	①今年度から設定した「キラナワ中休み」によって、休み時間にクラスで長縄に取り組むことが多くなった。継続して実践できている学年で努力した。③学校保健委員会では、子どもの実態に合わせて話し合いを設定して代表児童を中心に話し合い、有益な情報を各クラスで共有できた。	B
児童指導・特別支援体制の充実	①児童支援専任を中心とした組織的な指導・支援体制を整え、教職員が連携していじめ等問題行動の早期発見と対応を行う。②「子安小スタンダード」、「ユニバーサルデザイン」をもとにして子どもたち共通した指導を行い、子どもが気持ちよく、落ち着いた学校生活を送ることができ、精選していき、さらに子どもが落ち着いた学校生活を目指す。	①児童支援専任を中心とした組織的な指導・支援体制を整え、教職員が連携していじめ等問題行動の早期発見と対応を行う。②「子安小のきまり」(子ども編、教師編)をもとにして誰にとっても分かりやすく、明確な指導を行うことで子どもが気持ちよく、落ち着いた学校生活を送ることができるよう支援する。	B
地域との協働	①校舎移転対策委員会を中心に、地域や保護者に対して校舎移転に関する情報の発信に努め、地域・保護者の様々な要望を受け止め、より地域と共につくる学校を目指す。②学校教育説明会・報告会、学校づくり懇話会などの機会を通して、学校経営方針や地域や保護者へ分かりやすく説明・報告する。③移転後の工事期間や移転後の登下校の安心・安全を考え、具体的な行動に移す。	①校舎移転について今後どの日程や計画などを進めてきた。今後全教職員が取り組む内容について話し合いを深めたい必要がある。また、登下校の安全に関して自治会と協力しているところである。②地域・保護者の方への情報発信を適宜行い、学校の取組に理解いただくことができた。	B
キャリア教育	①地域にある工場や企業、人材を活用し、地域と連携した授業づくりを行う。②学校行事や学年行事などを通して、自己を見つめ将来の夢や希望をもつ機会を設定する。③地域の人やプロフェッショナルなど、優れた人材と触れ合う機会を設け、その人の考え方や偉業などから自分の生き方を考えたり、振り返りたりする活動を行う。	①地域の工場、人材を生かした有意義な活動が行われてきた。一方で学年やクラスによって差がある部分もあり、職員の研修を通じて、その人の考え方や偉業などから自分の生き方を考えたり、振り返りたりする活動を行う。	B
情操教育	①年間を通して、音楽に親しめるよう「音楽朝会」を月1回実施して継続的に合唱する機会を設ける。②「ウインターコンサート」を通して仲間と共に合唱を行うことの楽しさ、協力して合奏することの喜びを感じられるようにする。③「朝読書」や学習と関連した読書活動を通して、本に親しむ心を育むとともに、子どもが読書習慣を身に付けられるようにする。	①クラスで歌を歌うこと、音楽朝会を通して、歌声を大事にすることを育ててきた。②「ウインターコンサート」を通して仲間と共に合唱を行うことの楽しさ、協力して合奏することの喜びを感じられるようにする。③朝読書や学習と関連した読書活動を通じて、本に親しむ心を育むとともに、子どもが読書習慣を身に付けられるようにする。	B
人材育成・組織運営	①校内研修の計画的な実施によって、子どもの学習や生活に対する指導力や危機管理対応能力の育成に努める。②校内初任者研修及びメンターチーム研修の充実、経験者層のメンターチームへの適切な参画によって、若手教職員が指導力・実践力を高められるようにする。	①児童指導に関する研修や教科指導に関する研修や生活に対する指導力や危機管理対応能力の育成に努めてきた。②校内初任者研修のほか、メンターチームを中心とした授業実践および研修会を自主的、計画的に行い若手教職員の指導力向上に努めた。	A
ブロック内相互評価後の気づき	①合同授業研究会を通して、学習環境の整備や教材など、子どもが主体的に学び続けられるような指導の工夫を共有できた。小・中・高の子どもの実態の違いと指導のための具体的な手立てなどについて教員同士が交流して情報交換することができた。②児童指導面だけでなく、教科指導についても小・中・高の互いの内容を理解した上で、9年間を通して地域で育てたい子ども像を今後も共有していく。		
学校関係者評価	①今年度の本校の取組について、肯定的に評価いただいた。教職員一同が子どもの成長を支えていることを広く認知していただき、さらに地域として協力できることについて頃から町内会や自治会等で確認していることを情報共有することができた。特に保護者世代の方たちからは「今年度は、年長者である町内会の方々から話していただけていることが分かった。〇本校が取り組んでいる挨拶運動については、取組時には挨拶をしているがそれが日常に生かされていない場合も見受けられる。教育活動が日常生活に生かせるようにとご示唆いただいた。		

重点取組分野	平成29年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①全教員が重点授業研究を通じて授業づくりにも、子どもの主体的な学習を実現させるとともに、学び合いを通して子どもの言語能力やコミュニケーション能力を高める。②生活科や「横浜の時間」を中心に地域や社会と関わり合う時間を設定して、問題解決的な学習を行いながら子どもの表現力を高めていくようにする。	①国語の重点研究を視座の観点から特化したことにより、研究の蓄積が積み込まれ、より焦点を絞った実践を行うことができた。②生活科や「横浜の時間」を中心に地域や社会と関わり合う時間を設定して、問題解決的な学習を行いながら子どもの表現力を高めていくようにする。	B
豊かな心の育成	①道徳の時間や各教科の授業において、物事の善悪や自他を思いやる心を育てる。②年間を通して全クラスが1回以上道徳の授業参観を行う。③児童が主体の人権集会を開き、様々な環境や状況にある人から学ぶ機会を設定して、思いやりの心やたくましく生きることの大切さを学ぶ。④「挨拶運動」を全校で実施し、進んで挨拶をする態度を育て、いじめの起きにくい風土	①道徳の時間や各教科の授業において、物事の善悪や自他を思いやる心を育てる。②年間を通して全クラスが1回以上道徳の授業参観を行う。③児童が主体の人権集会を開き、様々な環境や状況にある人から学ぶ機会を設定して、思いやりの心やたくましく生きることの大切さを学ぶ。④「挨拶運動」を全校で実施し、進んで挨拶をする態度を育て、いじめの起きにくい風土	B
健やかな体	①「長縄集会」や「縄跳び運動」など年間を通して実践する取組を通して体を動かすことの楽しさや能力を高めることの喜びを学ぶ機会を設定する。②「長縄中休み」を設定し、全校が一同に長縄に親しむ機会を継続的に実践する。③学校保健委員会を年に2回開き、自分の体の健康について学び、あてにむかって努力することの大切さを学ぶようにする。	①②「キラナワ中休み」や「キラナワ記録会」によって全校で長縄跳びに取り組みむことができた。クラスによって記録向上を目指す意識には差があるが、長縄が学校生活の中で定着している。③学校保健委員会でもその実態に合わせてテーマを設定して代表児童を中心に話し合い、有益な情報を各クラスで共有した。	B
児童指導体制の充実	①児童支援専任を中心とした組織的な指導・支援体制を整え、教職員が連携していじめ等問題行動の早期発見と対応を行う。②「子安小のきまり」(子ども編、教師編)をもとにして誰にとっても分かりやすく、明確な指導を行うことで子どもが気持ちよく、落ち着いた学校生活を送ることができるよう支援する。	①児童支援専任を中心とした組織的な指導・支援体制を整え、教職員が連携していじめ等問題行動の早期発見と対応を行う。②「子安小のきまり」(子ども編、教師編)をもとにして誰にとっても分かりやすく、明確な指導を行うことで子どもが気持ちよく、落ち着いた学校生活を送ることができるよう支援する。	B
地域との協働	①校舎移転対策委員会を中心に、地域や保護者に対して校舎移転に関する情報の発信に努め、地域・保護者の様々な要望を受け止め、より地域と共につくる学校を目指す。②学校教育説明会・報告会、学校づくり懇話会などの機会を通して、学校経営方針や地域や保護者へ分かりやすく説明・報告する。③移転後の工事期間や移転後の登下校の安心・安全を考え、具体的な行動に移す。	①校舎移転について、実際に進んでいる工事の進捗状況の報告や移転に伴って校内で行う行事についての情報発信に努めてきた。実際に移転が完了した後の協働についても今後計画していく必要がある。②地域・保護者の方への情報発信を適宜行うことにも、学校の取組に理解いただくことができた。	B
キャリア教育	①地域にある工場や企業、人材を活用し、地域と連携した授業づくりを行う。②学校行事や学年行事などを通して、自己を見つめ将来の夢や希望をもつ機会を設定する。③地域の人やプロフェッショナルなど、優れた人材と触れ合う機会を設け、その人の考え方や偉業などから自分の生き方を考えたり、振り返りたりする活動を行う。	①③校舎移転について、実際に進んでいる工事の進捗状況の報告や移転に伴って校内で行う行事についての情報発信に努めてきた。実際に移転が完了した後の協働についても今後計画していく必要がある。②地域・保護者の方への情報発信を適宜行うことにも、学校の取組に理解いただくことができた。	B
情操教育	①年間を通して、音楽に親しめるよう「音楽朝会」を月1回実施して継続的に合唱する機会を設ける。②「ウインターコンサート」を通して仲間と共に合唱を行うことの楽しさ、協力して合奏することの喜びを感じられるようにする。③「朝読書」や学習と関連した読書活動を通して、本に親しむ心を育むとともに、子どもが読書習慣を身に付けられるようにする。	①月末に行う音楽朝会へ向けて、今月の歌をクラスで歌うこと、音楽朝会を通して、歌声を大事にすることを育ててきた。②「ウインターコンサート」を通して仲間と共に合唱を行うことの楽しさ、協力して合奏することの喜びを感じられるようにする。③毎週水曜日の朝読書が定着し、本を読む習慣を全校で身に付けているようにしている。	B
いじめの対応	①子どもの発達段階に応じていじめを防止する取組を実施する。②いじめはどのクラスにも起こる可能性がある。未然防止と被害発生時の早期対応を行う。③相談窓口の明示、定期的なアンケート、個別の面談を実施して状況の把握に努める。	①②③児童支援専任の主導のもと、未然防止や即時対応など全職員が意識を高くして取り組むことができた。学校カウンセラーとの連携のほか、他種相談との連絡も積極的に行なった。	B
人材育成・組織運営	①校内研修の計画的な実施によって、子どもの学習や生活に対する指導力や危機管理対応能力の育成に努める。②校内初任者研修及びメンターチーム研修の充実、経験者層のメンターチームへの適切な参画によって、若手教職員が指導力・実践力を高められるようにする。	①研修を精選しつつも必要な内容について適宜取り進めてきた。児童指導に関することだけでなく、職員の不祥事防止研修など事業も充実することができた。②優れた人材と触れ合う機会を設け、その人の考え方や偉業などから自分の生き方を考えたり、振り返りたりする活動を行う。	B
ブロック内相互評価後の気づき	①合同授業研究会を今年度は小学校が先に行い(6月)、その後中学校が行うこととした。(9月)その結果、小学校と中学校の指導の繋がりが明確となり、共通点などを双方の教員が考えやすくなった。また、具体的な指導の手立てについても教員同士の交流によって情報交換することができた。		
学校関係者評価	①今年度の本校の取組について、学校関係者である地域の方々には大変肯定的に評価をいただいた。毎年同様に児童に対して頃から地域でも積極的に声をかけていただいている。さらに、今年度末の移転については地域の安全面や登下校の安全面について危惧していることあり教育委員会や関係機関に自治会長様から直接かけあっていたいただいていることもある。〇本校の今年度の体向上1校1実践の内容と関連して、児童の生活実態について携帯電話やタブレット端末を使用したゲーム時間の多さについて各家庭での意識向上が必要であること共通理解した。		

重点取組分野	平成30年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
確かな学力	①全教員が重点授業研究を通じて授業づくりにも、子どもの主体的な学習を実現させるとともに、学び合いを通して子どもの言語能力やコミュニケーション能力を高める。②生活科や「横浜の時間」を中心に地域や社会と関わり合う時間を設定して、問題解決的な学習を行いながら子どもの表現力を高めていくようにする。	①国語の重点研究を視座の観点から特化したことにより、研究の蓄積が積み込まれ、より焦点を絞った実践を行うことができた。②生活科や「横浜の時間」を中心に地域や社会と関わり合う時間を設定して、問題解決的な学習を行いながら子どもの表現力を高めていくようにする。	B
豊かな心	①道徳の時間や各教科の授業において、物事の善悪や自他を思いやる心を育てる。②年間を通して全クラスが1回以上道徳の授業参観を行う。③児童が主体の人権集会を開き、様々な環境や状況にある人から学ぶ機会を設定して、思いやりの心やたくましく生きることの大切さを学ぶ。④「挨拶運動」を全校で実施し、進んで挨拶をする態度を育て、いじめの起きにくい風土	①道徳の時間や各教科の授業において、物事の善悪や自他を思いやる心を育てる。②年間を通して全クラスが1回以上道徳の授業参観を行う。③児童が主体の人権集会を開き、様々な環境や状況にある人から学ぶ機会を設定して、思いやりの心やたくましく生きることの大切さを学ぶ。④「挨拶運動」を全校で実施し、進んで挨拶をする態度を育て、いじめの起きにくい風土	B
健やかな体	①「長縄集会」や「縄跳び運動」など年間を通して実践する取組を通して体を動かすことの楽しさや能力を高めることの喜びを学ぶ機会を設定する。②「長縄中休み」を設定し、全校が一同に長縄に親しむ機会を継続的に実践する。③学校保健委員会を年に2回開き、自分の体の健康について学び、あてにむかって努力することの大切さを学ぶようにする。	①②「キラナワ中休み」や「キラナワ記録会」によって全校で長縄跳びに取り組みむことができた。クラスによって記録向上を目指す意識には差があるが、長縄が学校生活の中で定着している。③学校保健委員会でもその実態に合わせてテーマを設定して代表児童を中心に話し合い、有益な情報を各クラスで共有した。	B
児童指導体制の充実	①児童支援専任を中心とした組織的な指導・支援体制を整え、教職員が連携していじめ等問題行動の早期発見と対応を行う。②「子安小のきまり」(子ども編、教師編)をもとにして誰にとっても分かりやすく、明確な指導を行うことで子どもが気持ちよく、落ち着いた学校生活を送ることができるよう支援する。	①児童支援専任を中心とした組織的な指導・支援体制を整え、教職員が連携していじめ等問題行動の早期発見と対応を行う。②「子安小のきまり」(子ども編、教師編)をもとにして誰にとっても分かりやすく、明確な指導を行うことで子どもが気持ちよく、落ち着いた学校生活を送ることができるよう支援する。	B
地域との協働	①校舎移転対策委員会を中心に、地域や保護者に対して校舎移転に関する情報の発信に努め、地域・保護者の様々な要望を受け止め、より地域と共につくる学校を目指す。②学校教育説明会・報告会、学校づくり懇話会などの機会を通して、学校経営方針や地域や保護者へ分かりやすく説明・報告する。③移転後の工事期間や移転後の登下校の安心・安全を考え、具体的な行動に移す。	①校舎移転が完了し、新しい場所での登下校の安全面においては地域や保護者の協力が必要になるため、情報の発信、共有に努めて共に歩む学校を目指している。②学校教育説明会・報告会、学校づくり懇話会などの機会を通して、学校経営方針や地域や保護者の方への情報発信を適宜行うことにも、学校の取組に理解いただくことができた。	B
キャリア教育	①地域にある工場や企業、人材を活用し、地域と連携した授業づくりを行う。②学校行事や学年行事などを通して、自己を見つめ将来の夢や希望をもつ機会を設定する。③地域の人やプロフェッショナルなど、優れた人材と触れ合う機会を設け、その人の考え方や偉業などから自分の生き方を考えたり、振り返りたりする活動を行う。	①地域にある工場や企業、人材を活用して、見学や体験など地域と連携した授業づくりを行う。②学校行事や学年行事などを通して、自己を見つめ将来の夢や希望をもつ機会を設定する。③地域の人やプロフェッショナルなど、優れた人材と触れ合う機会を設け、その人の考え方や偉業などから自分の生き方を考えたり、振り返りたりする活動を行う。	B
情操教育	①年間を通して、音楽に親しめるよう「音楽朝会」を月1回実施して継続的に合唱する機会を設ける。②「ウインターコンサート」を通して仲間と共に合唱を行うことの楽しさ、協力して合奏することの喜びを感じられるようにする。③「朝読書」や学習と関連した読書活動を通して、本に親しむ心を育むとともに、子どもが読書習慣を身に付けられるようにする。	①年間を通して、音楽に親しめるよう「音楽朝会」を月1回実施して継続的に合唱する機会を設ける。②「ウインターコンサート」を通して仲間と共に合唱を行うことの楽しさ、協力して合奏することの喜びを感じられるようにする。③子どもが読書習慣を身に付けられるように、週回朝読書のうち1日を全校読書日と定めるほか、読書習慣身に付けられるように働きかけを行っている。	B
いじめの対応	①子どもの発達段階に応じていじめを防止する取組を実施する。②いじめはどのクラスにも起こる可能性がある。未然防止と被害発生時の早期対応を行う。③相談窓口の明示、定期的なアンケート、個別の面談を実施して状況の把握に努める。	①子どもの発達段階に応じていじめを防止する取組を実施する。②いじめはどのクラスにも起こる可能性がある。未然防止と被害発生時の早期対応を行う。③相談窓口の明示、定期的なアンケート、個別の面談を実施して状況の把握に努める。	B
人材育成・組織運営	①校内研修の計画的な実施によって、子どもの学習や生活に対する指導力や危機管理対応能力の育成に努める。②校内初任者研修及びメンターチーム研修の充実、経験者層のメンターチームへの適切な参画によって、若手教職員が指導力・実践力を高められるようにする。	①校内研修の計画的な実施によって、子どもの学習や生活に対する指導力や危機管理対応能力の育成に努めた。②校内初任者研修のほか、メンターチームを中心とした授業実践および研修会を自主的、計画的に行い若手教職員の指導力向上に努めた。	B
ブロック内相互評価後の気づき	①合同授業研究会を今年度は小学校が先に行い(6月)、その後中学校が行うこととした。(9月)その結果、小学校と中学校の指導の繋がりが明確となり、共通点などを双方の教員が考えやすくなった。また、具体的な指導の手立てについても教員同士の交流によって情報交換することができた。		
学校関係者評価	①今年度の本校の取組について、学校関係者である地域の方々には大変肯定的に評価をいただいた。毎年同様に児童に対して頃から地域でも積極的に声をかけていただいている。さらに、今年度末の移転については地域の安全面や登下校の安全面について危惧していることあり教育委員会や関係機関に自治会長様から直接かけあっていたいただいていることもある。〇本校の今年度の体向上1校1実践の内容と関連して、児童の生活実態について携帯電話やタブレット端末を使用したゲーム時間の多さについて各家庭での意識向上が必要であること共通理解した。		

学校経営中期取組目標振り返り
今年度から3年計画として始めた中心となる8つの項目について、概ね目標を達成できたと言える。項目ごとに職員の自己評価を総合して段階について、項目によってはA評価を付けた割合が多かったものもあり、特に「健やかな体」や「児童指導・特別支援体制の充実」に関する評価が高くなった。これは、1校1実践である「長縄運動」の取組に年間を通して全クラスが取り組む記録を伸ばしてきたこと、学校保健委員会の充実などが貢献しており、さらに「特別支援体制」については児童支援専任を中心とした児童指導の体制が組織的にまわってきたことがその理由と見える。それぞれの課題はまだあるが平成30年度に移転を控えていることも踏まえて、現在の本校の実態に即したことをしつつ着実に積み上げていくことがより大切と考えられる。

学校経営中期取組目標振り返り
〇中期学校経営計画2年目の本年度、前年度の重点項目に1つ加えて9項目での取組を行ってきた。教職員による自己評価結果はすべての項目においてB評価となった。中でもA評価を付けた教職員が多かったのは、情操教育としての対応についてであった。情操教育に関することは毎年行っている職員行事「ウインターコンサート」を中心に年間を通して歌声を大切にしている教育活動を行っていること、各学年が順番に取り組み、挨拶運動による教育的効果が反映されている。また、いじめの対応については、専任を中心として、全職員が意識を高くも、いじめの早期発見と対応に心がけていることが反映されている。これからのことを大事にし、次年度も継続して実践していきたい。

学校経営中期取組目標振り返り
〇中期学校経営計画2年目の本年度、前年度の重点項目に1つ加えて9項目での取組を行ってきた。教職員による自己評価結果はすべての項目においてB評価となった。中でもA評価を付けた教職員が多かったのは、情操教育としての対応についてであった。情操教育に関することは毎年行っている職員行事「ウインターコンサート」を中心に年間を通して歌声を大切にしている教育活動を行っていること、各学年が順番に取り組み、挨拶運動による教育的効果が反映されている。また、いじめの対応については、専任を中心として、全職員が意識を高くも、いじめの早期発見と対応に心がけていることが反映されている。これからのことを大事にし、次年度も継続して実践していきたい。

※当該年度の達成状況：A…十分達成 B…概ね達成 C…努力必要 D…改善必要